

令和3年度（令和2年度分）  
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検  
及び評価報告書

西之表市教育委員会

## 目 次

(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要について .....	1
(2) 令和3年度（令和2年度実施事業）点検評価について .....	2-11
・ 図書館図書整備事業(小学校)（総務課） .....	2
・ 小学校施設改修事業（総務課） .....	4
・ 西之表市「種子島しおさい留学」里親等支援事業（学校教育課） .....	6
・ ふるさとまなび～隊開催事業（社会教育課） .....	8
・ 種子島西之表市いけばな展開催事業（社会教育課） .....	10

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施することとなっております。また、同条 2 項の規定に基づき、点検及び評価の際には、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとなっております。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### ○点検及び評価の流れ

#### 対象事業の選定

行政評価の仕組みにおける裁量性の高い事業から教育委員会において選定

↓

#### 自己評価

選定された事業の自己点検評価シートを作成

↓

#### 外部評価

西之表市教育委員会外部評価委員会において意見聴取

↓

#### 教育委員による評価

定例教育委員会において意見聴取

↓

教育委員と外部評価委員からの意見を集約し、教育委員及び外部評価委員へ報告承認

↓

議会へ提出

↓

公表

#### 外部評価委員

内田 節生	行政経験者
塩崎 義政	校区長
下田 眞澄	元校長
春田 沙代子	PTA 役員

## 自己点検評価シート

事務事業名	図書館図書整備事業(小学校)		担当課	総務課	
事業概要	対象	市内各学校で管理している図書			
	手段	特に充足率の低い学校について、図書購入を重点的に実施する。			
	意図	各学校の図書蔵書数を増やすことで多様な読書活動を推進し、情操教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。			
令和2年度事業内容	・国上小学校 409冊(充足率91%) ・住吉小学校 346冊(充足率87%) 計 755冊 10校×50冊⇒354冊 合計 1109冊				
事業費	令和2年度決算額	1,920千円	令和3年度予算額	750千円	
評価指標			目標値	実績値	達成率
	学校図書館図書蔵書数が3,000冊未満または図書標準充足率が80%未満の小学校数		2	2	100%
取組内容	学校にて図書を選定・購入し、予算執行を庶務係にて行う。				
成果	目標である文科省の図書標準充足率の80%以上を達成することができた。。				
課題	古い蔵書があるので、今後入れ替えていきたい。				
今後の方向性	文科省の規定に準ずる図書の充足率を図る必要があることから重要な事業である。				
評価  ○…妥当、適切 △…一部見直しが必要 ×…全面的な見直しが必要	妥当性	<input type="radio"/> 現状の課題の解決手段になっているか			
		<input type="radio"/> 市が行うべき仕事か			
		<input type="radio"/> 正しい成果認識による成果の把握ができているか			
	有効性	<input type="radio"/> 成果の向上余地はあるか			
		<input type="radio"/> 類似の事業が他にないか			
		<input type="radio"/> 市民や事業所との役割分担は適切に認識されているか			
	効率性	<input type="radio"/> 成果を落とさずに事業費を削減する方法はないか			
		<input type="radio"/> 業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか			
	公平性	<input type="radio"/> 同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか			
		<input type="radio"/> 受益者負担は適正に設定されているか			
	総合評価 (欄外参照)	A	多様な読書活動を推進する上で、各学校の図書蔵書数の充足率を満たすことは重要である。充足率を図る為には各学校の蔵書の正確な把握が重要となる。		

- 総合評価について
- A 計画どおりに事業が進展している。または、事業内容が概ね適切な事業。
  - B 課題があり、事業の進め方や事業費等に一部見直しが必要な事業。
  - C 課題が多く、事業内容や事業規模、実施主体の見直しが必要な事業。
  - D 事業の統合・休廃止を検討する事業。または、課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業。

意見・要望等

<p>外部評価委員の意見</p>	<p>(問) 国上小学校の409冊については、新しい本を買ったということか。 →(答) 新しい物を買っている。古い物は更新している。</p> <p>(問) 各学校それぞれどれくらいあるのか。 →(答) 令和2年度にシステムを導入して、3,000冊台から5,000冊台、榕城小学校は13,000冊台で、国上小は5,009冊となっている。</p> <p>(問) システム導入とも関係するが、各学校で子どもたちが興味を持って読んでくれるように工夫をしていると思うが、最近よくテレビ等で読書通帳に本の名前等が記録されて、1冊通帳が終了したら景品がもらえとかそういう取り組みをやっている図書館等もたくさんあるように聞いている。各学校で工夫をしていることがあれば、教えてほしい。 →(答) 図書のシステムを導入したことで、その人が借りた冊数がすぐわかる。誕生日の時には、本を多めに借りることができる。学年ごとに集計もできる。</p>
<p>教育委員の意見</p>	<p>(問) 本を買うことによって、子どもたちの読書数が増えているとかの効果を把握しているか。 →(答) 令和2年度にシステムを導入し、統計をとれるようになったので、司書は把握していると思う。</p> <p>(問) 本を買う時は学校に任せているのか。 →(答) 司書と図書担当の先生が話し、選定している。</p> <p>(問) どんな本が読みたいか、子どもたちに聞いているところがあるか。 →(答) アンケートをしたりするところはあると思う。</p> <p>(問) 最近携帯で本を読む人も増えてきていると思うが、学校でそういう話を聞いていないか。今は、聞く読書もある。 →(答) これから先そういう事もあると思うので、今後検討する。</p>

## 自己点検評価シート

事務事業名	小学校施設改修事業		担当課	総務課	
事業概要	対象	国上小学校の児童及び教職員			
	手段	施設整備内容の検討→入札・契約審査委員会→指名通知→入札→業者決定→業者との協議			
	意図	児童の施設内での安全を確保する。			
令和2年度事業内容	この事業では、小学校施設の老朽化に伴い、施設の更新事業を実施する。令和2年度は、国上小学校校舎に自動火災報知設備を新規で設置。当該事業における令和2年度の改修工事等については当該工事のみ。				
事業費	令和2年度決算額	2,347千円	令和3年度予算額	5,000千円	
評価指標			目標値	実績値	達成率
	施設改修学校数(校)		1	1	100%
	改修にかかる費用(千円)		4,200	2,347	56%
取組内容	国上小学校校舎に自動火災報知設備を新規で設置した				
成果	万が一火災が発生した際に、早急にかつ自動的に火災を知らせる確率が高まったことにより、児童および教職員の安全を確保することができる。				
課題	今後、定期的に設備点検を受け、設備に不備がないように努めていく必要がある。				
今後の方向性	快適で安心・安全な学習環境の整備に努めていく。また、現場が学校施設内になることから、事業の実施にあたっては、工事着工前に学校との事前協議を十分にを行い、安全に留意して工事ができるようにする。				
評価  ○…妥当、適切 △…一部見直しが必要 ×…全面的な見直しが必要	妥当性	<input type="checkbox"/>	現状の課題の解決手段になっているか		
		<input type="checkbox"/>	市が行うべき仕事か		
		<input type="checkbox"/>	正しい成果認識による成果の把握ができているか		
	有効性	<input type="checkbox"/>	成果の向上余地はあるか		
		<input type="checkbox"/>	類似の事業が他にないか		
		<input type="checkbox"/>	市民や事業所との役割分担は適切に認識されているか		
	効率性	<input type="checkbox"/>	成果を落とさずに事業費を削減する方法はないか		
		<input type="checkbox"/>	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか		
	公平性	<input type="checkbox"/>	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか		
<input type="checkbox"/>		受益者負担は適正に設定されているか			
総合評価 (欄外参照)	A	消防点検等法定検査結果に伴う指摘事項に対し対応したものであり、安心・安全な教育環境の整備につなげることができた。また、今後、火災発生時には迅速な避難と適切な初期消火活動を行うことができる。			

- 総合評価について
- A 計画どおりに事業が進展している。または、事業内容が概ね適切な事業。
  - B 課題があり、事業の進め方や事業費等に一部見直しが必要な事業。
  - C 課題が多く、事業内容や事業規模、実施主体の見直しが必要な事業。
  - D 事業の統合・休廃止を検討する事業。または、課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業。

## 意見・要望等

外部評価委員の意見	<p>(問) 国上小学校は、築何年になっているか。 耐震構造的なことは、済まされているのか。 火災報知器を設置されているということで、国上小以外にもそういう所があるのか。 →(答) 耐震調査は済んでいる。 国上小の校舎の建築年度は、古い所で昭和37年、40年という校舎もある。 他の学校については、上西小が消防の指摘を受けており、増設の必要があるということで、令和4年度に増設工事を計画している。</p>
教育委員の意見	<p>(問) 自動火災報知設備というのは、従来のものより機能が高いのか。 →(答) 設備自体は従来のもので、今までが未設置だったので、新規に設置したものである。</p> <p>(問) あとは上西小だけか。 →(答) 上西小には付いているが、増設の必要があるということで、来年度の予算を計上している。</p>

## 自己点検評価シート

事務事業名	西之表市「種子島しおさい留学」里親等支援事業		担当課	学校教育課
事業概要	対象	(1) 市外在住で西之表市の小学校に転入学を希望する児童 (2) 西之表市「種子島しおさい留学」推進連絡協議会		
	手段	(1) 里親等を支援するための補助金等を支出する。 (2) 協議会の運営を支援するための補助金を支出する。		
	意図	種子島での生活のなかで、豊かな体験活動や小規模校の特色を活かした教育活動を通して、対象児童の生きる力を育む。また、児童数減少等の課題を解決する。		
令和2年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里親等支援のための補助金交付事務</li> <li>・ 西之表市「種子島しおさい留学」推進連絡協議会の運営事務</li> <li>・ 留学生確保に向けた広報活動</li> <li>・ 留学生受入増に向けた体制整備</li> </ul>			
事業費	令和2年度決算額	9,467千円	令和3年度予算額	14,940千円
評価指標		目標値	実績値	達成率
	留学生数(人)	12	16	133%
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里親等を支援するための補助金交付事務を行った。</li> <li>・ 留学生・里親の確保及び留学の充実を図るため、推進連絡協議会を行い、情報交換を行った。</li> <li>・ 市HP更新や全国の種子島ふるさと応援隊員へのパンフレット配布やポスター発送等に加え、令和2年度はイベントでのオンライン相談受付、メールマガジンや雑誌への広報掲載を行うなど、広報活動を充実させた。</li> <li>・ 民間住宅も含む親子留学用住宅の確保に向けた準備を行った。</li> </ul>			
成果	令和2年度は、4家庭8人の里親留学生と4家族8人の親子留学生を受け入れ、計16人の留学生を受け入れることができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から留学生交流会は実施できなかったものの、16人全員が無事に修了式を迎えることができた。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外からの受入ということもあり、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する必要がある。</li> <li>・ 親子留学拡充に向けて、民間住宅の確保も行っていく必要がある、契約等の体制整備を行っていく必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 留学生受入や帰省等の際はPCR検査を義務付けるなど、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底する必要がある。</li> <li>・ 民間住宅を使用する際の契約等、推進体制を高めていく必要がある。</li> </ul>			
評価	妥当性	<input type="radio"/>	現状の課題の解決手段になっているか	
		<input type="radio"/>	市が行うべき仕事か	
		<input type="radio"/>	正しい成果認識による成果の把握ができているか	
	有効性	<input type="radio"/>	成果の向上余地はあるか	
		<input type="radio"/>	類似の事業が他にないか	
		<input type="radio"/>	市民や事業所との役割分担は適切に認識されているか	
	効率性	<input type="radio"/>	成果を落とさずに事業費を削減する方法はないか	
		<input type="radio"/>	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか	
公平性	<input type="radio"/>	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか		
	<input type="radio"/>	受益者負担は適正に設定されているか		
総合評価 (欄外参照)	A	各校区実行委員会の主体的・積極的な取組や、多様な広報活動の成果により、留学生受入について、大きな成果をあげることができた。次年度へ向けて、各校区実行委員会と連携した里親留学の拡充や親子留学の環境整備による留学生増と、小規模校及び校区の活性化を図るための年間を見通した計画的な取組を充実させたい。		

総合評価  
について

- A 計画どおりに事業が進展している。または、事業内容が概ね適切な事業。
- B 課題があり、事業の進め方や事業費等に一部見直しが必要な事業。
- C 課題が多く、事業内容や事業規模、実施主体の見直しが必要な事業。
- D 事業の統合・休止を検討する事業。または、課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業。



意見・要望等

<p>外部評価委員の意見</p>	<p>(問) 里親留学と親子留学で2年続けて希望したケースはどの程度あるか。          →(答) 令和元年度から令和2年度への継続の方はいない。          令和2年度から3年度に向けて継続したいという方は、親子留学で2家族いる。          他にも以前、親子留学で来ていて、1度帰った方がぜひ6年生でこの学校で卒業したいということで、里親留学で来ているというケースもある。</p>
<p>教育委員の意見</p>	<p>(問) しおさい留学も何年かたって、軌道に乗って多くなってきている。今年、中学生が対象となったがこれからも続けていくのか。          →(答) 令和3年度から要綱を改正して、親子留学については中学生も対象としている。今年1人、中学生を受け入れている。次年度以降についても受入を行っていききたい。</p> <p>(問) 南種子町の宇宙留学の紹介で入る方が以前は多かったと聞いているが、今はどのようなになっているか。          →(答) 本年度、親子留学については、南種子町と近いくらいの数の応募があった。広報にも力を入れているところだが、徐々に広がりつつあると実感している。里親留学の申し込みが南種子町と比べると少ない状況にある。南種子町に不採用になった子が西之表市に再度応募するということがあるので、今年度は不採用通知に西之表市の紹介を一文入れてもらうことで改めて、こちらに応募してもらいたいと考えている。</p>

自己点検評価シート

事務事業名	ふるさとまなび～隊開催事業		担当課	社会教育課
事業概要	対象	市内の小学3年生から小学6年生の児童		
	手段	異年齢集団での自然体験活動等の実施		
	意図	様々な体験活動を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養う。		
令和2年度事業内容	種子島の自然の中で、様々な体験活動を通して、子どもたちに生きる力を体験させる。R2年度全9回を計画し、新型コロナや天候不良により3回中止となり、最終的に6回実施することができた。基本的に午前の活動とした。 (プログラムの設定、事業の周知、参加の募集・決定、資料作成、活動の実施)			
事業費	令和2年度決算額	20千円	令和3年度予算額	210千円
評価指標			目標値	実績値
	延べ参加人数		300	94
				達成率
				31%
取組内容	新型コロナの影響で、中止や内容変更を余儀なくされた。全9回を計画し、新型コロナや天候不良により、3回中止で、最終的に6回(川遊び、考古学体験、遠行、野外炊飯体験、凧揚げ、ニュースポーツ)実施となった。通常、3時間程度の活動である。			
成果	新型コロナの影響により、定員を減らして募集したことから、例年より大幅に少ない参加者数となった。しかし、コロナ禍においても体験活動に対する意欲がある児童が多かった。しかし参加者が固定されている感は否めない。保護者から高評価をいただいております。本事業の需要は大きい。学校も違う異年齢集団での活動のため、隊員一人ひとりが積極的にコミュニケーションを取ろうとする動きが見られ、交流関係に広がりが見られた。			
課題	新型コロナの影響で、人数制限が必要であり、多くの児童に体験させられないことなど、感染症対策が大きな課題である。反面、新しい生活様式等を取り入れながら、密にならない活動を改めて検討することで、活動内容がマンネリにならず、新たな活動ができています。			
今後の方向性	R3年度も引き続き、感染症対策を講じながら、実施していく。今年度は、学校教育課と連携を図りながら、地元の児童はもちろんのこと、しおさい留学生の参加を視野に入れ、留学生が、一緒に種子島を満喫し学ぶことができる内容にする。ただし、新型コロナの感染状況を見ながら、感染が拡大した場合は、中止や変更もありうる。			
評価	妥当性	<input type="radio"/> 現状の課題の解決手段になっているか		
		<input type="radio"/> 市が行うべき仕事か		
		<input type="radio"/> 正しい成果認識による成果の把握ができていますか		
	有効性	<input type="radio"/> 成果の向上余地はあるか		
		<input type="radio"/> 類似の事業が他にないか		
		<input type="radio"/> 市民や事業所との役割分担は適切に認識されているか		
	効率性	<input type="radio"/> 成果を落とさずに事業費を削減する方法はないか		
		<input type="radio"/> 業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか		
公平性	<input type="radio"/> 同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか			
	<input type="radio"/> 受益者負担は適正に設定されているか			
総合評価 (欄外参照)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の生きる力を育むうえで、自然体験をはじめ文化・芸術などに直接触れる体験的な学習活動等の重要性が高まっている。そういった意味から、当事業を展開することは非常に有意義であると考えます。</li> <li>・今後の課題は、多くの児童に当事業を知ってもらおうとともに、参加メンバーが固定化することがないよう、多様な広報活動を工夫していきたい。</li> </ul>		

- 総合評価について
- A 計画どおりに事業が進展している。または、事業内容が概ね適切な事業。
  - B 課題があり、事業の進め方や事業費等に一部見直しが必要な事業。
  - C 課題が多く、事業内容や事業規模、実施主体の見直しが必要な事業。
  - D 事業の統合・休廃止を検討する事業。または、課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業。

意見・要望等

<p>外部評価委員の意見</p>	<p>(問) 以前は榕城小のように大きな学校が多く参加し、小さい学校からは少ししか集まらない状況だったが、今は小さな学校が多く参加し、大きな学校からあまり参加がない。と聞いているが、実際どれくらいの割合で参加があるのか。 →(答) 榕城小は全体的な人数が多いので、榕城小は多いが、他の学校も参加している。 小さな学校には、しおさい留学生もいるので、情報提供をしていただいているおかげかもしれない。 昨年で言うと94名参加中、榕城小が58名、参加がない学校が下西、伊関、安納、あとは少人数だが、上西2名、国上5名、現和9名、安城6名、古田6名、住吉1名の参加がある。 声掛けをして、参加者が固定化しないよう工夫しているところである。</p> <p>(問) 子どもたちの保険関係はどうなっているのか。 →(答) 市(総務課)が全体でかけている保険がある。体験学習等対象になる。</p> <p>(問) 活動の中で事故とかはないのか。 →(答) 擦傷とかはあるが、大きな事故はない。</p> <p>(問) カヌー・いかだ等水辺の体験で指導など気を付けるところはないか。 →(答) 対応する職員は社会教育係だけでなく、生涯スポーツ系の職員にも手伝いをお願いし、1人の職員ができるだけ少人数を指導ができるような対応をしている。 事前に職員も練習をして、安全面には特に対応している。</p>
<p>教育委員の意見</p>	<p>(問) 計画は毎年見直しをしていると思うが、全く同じ内容というのではないのか。 →(答) 中にはあるが、令和2年度については、コロナの関係もあり屋外での活動を入れている。</p> <p>(問) 毎年同じ子どもが参加していることがあるか。 →(答) 中には、いる。</p> <p>(問) 何回も来ている子どもはリーダー的存在で、他の子どもにも教えたり良い面もあったりするのか。 →(答) 違う学校の子どもたちとも仲良くなって、話もしているようである。</p> <p>(意見) 数年前にまなび～隊の子どもたちと一緒に活動したことがあるが、大人の人たちも集まって良かった。</p> <p>(問) 対象が小学校3年生から6年生と書いているが、兄弟で出たいとかはないのか。 →(答) 時々ある。一年生となると手がかかる部分もあるので、父母が参加する時には、親御さんの責任で参加してもらっている。</p>

## 自己点検評価シート

事務事業名	種子島西之表市いけばな展開催事業		担当課	社会教育課	
事業概要	対象	①伝統文化(いけばな) ②市民			
	手段	①伝統文化(いけばな)に関する史料調査・研究・整理・普及啓発 ②華道団体との連携、いけばな展の開催、いけばな体験の実施			
	意図	先人が築いてきた伝統文化のひとつである「いけばな」を学び親しむ機会を提供することにより、その継承や活用の充実を図る。 ※国民文化祭を機に、平成26年度から継続開催している。			
令和2年度事業内容	11/28(土)・29(日)の2日間、鉄砲館において「種子島西之表市いけばな展」を開催し、市内華道団体の作品展示、いけばな体験教室、史料展示を行った。				
事業費	令和2年度決算額	329千円	令和3年度予算額	388千円	
評価指標			目標値	実績値	達成率
	いけばな展来場者数	(人)	500	506	101%
	出展団体数	(団体)	4	2	50%
取組内容	<p>【華道団体】新規で1団体増え、市内4団体へ出展依頼を行ったが、コロナ禍の活動自粛や諸事情があり、2団体(うち1団体は個人扱い)の出展であった。</p> <p>【会場】前年度の旧上妻家住宅から鉄砲館へ会場を変更し、両日、無料入館とすることで、多くの来場があった。</p> <p>【体験】先着60セット準備し、番号札と時間割により、スムーズに実施できた。</p> <p>【展示】羽生慎翁の紹介など、いけばな文化(歴史)に関する史料展示を行った。史料展示は、12/4(金)までの1週間、継続して実施した。</p>				
成果	市内華道団体の発表機会を設け、活動の充実を図ることができた(出展6人、11点) いけばな体験教室を行い、伝統文化に対する興味関心を広げることができた(体験56人) 作品展示や史料展示により、本市いけばな文化を広く周知することができた(来場506人)				
課題	市主催での事業は令和4年度で終了し、その後は市内華道団体が主催すること(市は後援)を目標にしているが、市内華道団体の活性化には至っておらず、現状の見通しでは厳しいと思われる。				
今後の方向性	引き続き、コロナ対策を行った上で、適切に事業展開を行う。 ただし、令和4年度までという事業年度については、上記の課題もあり、令和3年度中に検討を行い、方向性を定めたい。(例えば、①市内華道団体に引き継げなくても終了、②市主催を延長し様子を見る、③いけばな展の単独開催ではなく、他事業(例えば市民文化祭)と連携する…などが考えられる。)				
評価	妥当性	<input type="radio"/> 現状の課題の解決手段になっているか			
		<input type="triangle-up"/> 市が行うべき仕事か			
		<input type="triangle-up"/> 正しい成果認識による成果の把握ができているか			
	有効性	<input type="triangle-up"/> 成果の向上余地はあるか			
		<input type="triangle-up"/> 類似の事業が他にないか			
	効率性	<input type="radio"/> 市民や事業所との役割分担は適切に認識されているか			
<input type="radio"/> 成果を落とさずに事業費を削減する方法はないか					
<input type="radio"/> 業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか					
公平性	<input type="radio"/> 同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか				
	<input type="radio"/> 受益者負担は適正に設定されているか				
総合評価 (欄外参照)	A	<p>「いけばな展」開催事業としては、いけばなの歴史や文化、華道団体の活動を周知する場として、毎年、工夫しながら事業展開が来ている。</p> <p>ただし、これは「いけばなに触れる機会をつくる」という市の目標達成であり、「いけばなを始める人・習う人が増える」という華道団体の目標を考えると、その後押しまでには至っていない。</p>			

- 総合評価について
- A 計画どおりに事業が進展している。または、事業内容が概ね適切な事業。
  - B 課題があり、事業の進め方や事業費等に一部見直しが必要な事業。
  - C 課題が多く、事業内容や事業規模、実施主体の見直しが必要な事業。
  - D 事業の統合・休廃止を検討する事業。または、課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業。

意見・要望等

<p>外部評価委員の意見</p>	<p>(問) 妥当性の中で、市が行うべき仕事かということで、一部見直しということだが、見直しというのはどのような考えを持っているのか。 →(答) 生け花の歴史文化という視点から文化財係としては仕事を始めているので、国民文化祭という中で生け花を大々的にやって、一年で終わりではなくて続けて市民の方々に生け花の歴史を広めていこうということで、活動を続けている。 目標としては、現在は市が主体で実施しているが、市内の華道団体が自分たちのイベントとしてできるようにバトンタッチできるのが理想だということをやっている。 現状としては若い人がいっぱい入っているようなグループではないので、それが課題である。 文化歴史を広める文化財の仕事としては、市の仕事と考えている。 このイベントが令和4年度で終了したとしても展示コーナーで企画展などは今後も続けていくことができる。</p> <p>(問) 市のほうも華道団体を育成していく目標があると思う。 今4団体あるということだが、国民文化祭でも中学生や高校生たちを集めて、生け花の指導をしたり、生け花に携わるイベントをしたのだが、生け花展の中で団体育成をやっていくことを考えてないか。 →(答) 過去に市民講座で生け花もあったが、今は若い方が花に触れる機会が少ない状況である。 生け花展で体験教室を設けることで何かしらのきっかけになればと、華道団体の方が付いて指導をしてくれた。 人に教えることの大変さや楽しさであったりとか、そこで仲良くなったことによつて、人をグループに引き込むというような効果があった。 令和2年度は、コロナで規模縮小して実施したが、令和元年度はふるさとまなび～隊と連携して活動の中に入れ、子どもたちの作品を上妻家住宅に展示をした。この8年ぐらい試行錯誤しながら実施しているが、興味を持ってくれた方も増えたと思う。</p>
<p>教育委員の意見</p>	<p>(問) 近頃は生け花を学んでいる人が少ない。以前は必ずしないといけないという意識があって習った覚えがあるのだが、最近習う人が少なくなったと思う。課題の中で現状の見通しは厳しいと思うが、声掛けによって団体が増えたことだが、どこの団体が教えてほしい。 →(答) 古田の団体で、窪田さんという方が中心でやっている。</p> <p>(問) 市内華道団体の年齢は高いのか。 →(答) ここ数年を見ていても、新しい人が入ったというのはあまり感じず、年齢が上がっている。</p> <p>(問) 高齢となると主催は難しいのではないか。 →(答) 国民文化祭から、これまでいけばな展を続け、見に来た人が本格的に習ってみようかなとなることを想定してきたが、ここ2年ぐらひはコロナもあり活性化というよりは自粛になっているところがある。現状では、目標のバトンタッチは無理でしょうし、いけばな展の活動が無くなりそうで何かしら工夫が必要である。</p> <p>(問) 団体の方々はどうな気持ちなのか。 →(答) 活動発表の機会としては、続けてほしいと思っているだろう。しかし、華道団体が新しい人を引き込む意欲が感じられない。市の仕事として人を増やすということではない。華道団体でも低迷のグループと盛り上がりのグループがある。だが、若い人がいけばなに興味を持たなくなっているのは確かである。</p> <p>(問) フラワーアレンジメントとか新しいものを取り入れたらどうか。 →(答) いけばなは、固いイメージがあるのかもしれない。いけばな体験の際は、自由に生けていいですよ～としているが。</p> <p>(問) 小学校の家庭教育学級の中で普及させたらどうか。 →(答) 家庭教育学級はどうしても学んでほしい内容を示し、それ以外にはその会員の方が自由に計画できる。情報提供はできると思う。</p>